



完成した本を手に、大場さん

新檜尾の自然を

まとめた本を発刊

新檜尾台の大場さん

新檜尾台3丁のマンション「ソワール新檜尾台」に住む大場勝さんが、新檜尾近郊の自然についての観察記録や、植物に触れたエッセイなどをまとめた『新檜尾公園と新檜尾台の緑地の話』を発刊した。

100ページ近い冊子には、2013年に約1年間かけて同地区で撮影した多くのカラー写真が掲載されている。また緑豊かな地域の様子や、植物図鑑を参考にした四季の植物の説明も。

初めは、ソワールのコミュニティサイト「ソワール新檜尾台・勝手なホームページ」で掲載されたが、マンションの住人しか閲覧できないため、それではもったいないと、マンション内の高齢者の会「シニアソワール」の有志が製本の手伝いをし、発刊に至った。ホームページ掲載分に、「自然見てある記」と題したエッセイも加えた。

高校で世界史の教鞭をと

っていた大場さんは、退職してから自然の多い新檜尾台に住んで15年。公園や緑地で出会う季節の移ろい、マンション敷地内に咲く季節の花や、人工の川や池にいるメダカやザリガニにも心が動かされ、日々書き留めているという。「自分にか書けない歴史と植物学を交えた文章を、これからもつづけていければ」。興味のある人は大場さん072・297・8660「富尾」